

朝霞市公共施設等総合管理計画(案)に関するパブリック・コメント(意見募集)結果

パブリックコメントの実施概要

朝霞市公共施設等総合管理計画(案)に対するパブリックコメントを、以下のとおり実施しました。

1	内 容	「朝霞市公共施設等総合管理計画(案)」について、市民等から意見を募集しました。
2	意見募集期間	平成28年1月4日(月) ~ 平成28年2月2日(火)
3	意見提出対象者	・市内に在住、在勤、在学されている方 ・市内に事務所、事業所を有する方 ・朝霞市公共施設等総合管理計画(案)について利害関係を有する方
4	公表資料	朝霞市公共施設等総合管理計画(案)
5	参考資料	なし
6	意見提出数	11件(2人) 内訳:個人 2人
		提出方法の内訳: 電子メール 2人

パブリックコメントの集計

パブリックコメントに出された意見は、次ページ以降に全件掲載しています。

公表資料の内容を修正する必要があると思われる意見は、1件でした。

意見番号	ページ等	意見等の内容	回 答	修正
1	23ページ 図2-21	施設分布状況と、先に公表されている内水ハザードマップを重ね合わせると、洪水時には浸水により使用できない施設が多数ある様です。このような施設については、安全なエリアへの統廃合や移転も含め、施設の再配置について検討が必要ではないでしょうか。	施設の統廃合を検討する際には、洪水時の浸水可能性も含めて検討する必要があるものと考えています。しかし一方で、浸水可能性のある場所に公共施設を配置しない場合は、地域的に偏りが生じて平常時に不便が生じることも考えられます。また、浸水時に施設として使用できない場合でも、2階以上に一時的に避難する建物としては利用可能であると考えられます。 施設の統廃合は、今後、あさかFMアクションプラン（仮称）で具体的に検討を進めることとなりますが、その際には、ご意見のような視点も含めて総合的な見地から検討していきたいと考えています。	なし
2	41ページ	専任担当の設置についても検討すべき課題とありますが、終章にある、今後の取り組みにおいて、PDCAサイクルを回すためにも、専任担当を配置した組織的な推進体制が必要と考えます。	ファシリティマネジメントは、広い分野にわたって取組が必要なものであることから、庁内横断の組織として、新たに専任のプロジェクトチームを設置し、朝霞市公共施設等総合管理計画庁内検討委員会とともに活動を推進していく方向で検討中です。	なし
3	44ページ 公共施設の量に関する基本的な考え方	P38図3-4に掲げられた「理念の検討」が、本項の内容に反映されておらず抽象論に見えます。もっと踏み込んだ表現に出来ないか。例えば「これ以上ハコモノ施設は増やしません」「公共施設の総量を●削減します」等、ここではシンプル・明快に大方針を記載すべきと考えます。	44ページでは、具体的な目標を検討する際の留意点を取りまとめています。 ご意見のような具体的な表現としては、45ページの一番下に「延床面積を14%削減」として掲げています。	なし
4	46ページ 財源に関する基本的な考え方	基金設立により一時的な大きい財政負担に耐えられる仕組についての記載がありますが、先般、政府が示したPPP/PFIの優先検討（人口規模の要件は20万人以上ではあるが）に則り、積極的な民間活力や民間資金の導入についても積極的に導入検討すべきと考えます。	46ページでは、市が自ら準備する資金に関して、今後どうやって確保するかについて記述したものです。 民間との連携については、54～55ページに方針を記載しています。ここでは、PPP/PFIの導入を検討すべき事例を掲げて、積極的に検討する方向性を記載しています。	なし
5	51ページ 用途廃止施設の 方針	記載内容が一般論であり、これで本当に具体的なアクションに着手出来るのか疑問です。例えば、長期にわたり休止している「湯～ぐうじょう」の事例では、今後の利用方法について検討中であり、長期に亘り施設が残存したまま、判断を先送りしている状況です。まずは「湯～ぐうじょう」の様な懸案事項となっている具体案件の解決から取り組むべきではないか？（休止施設とはいえども設備や建物の維持管理費が掛っている筈です）	用途廃止施設については、利用しづらい建物が残っていることで活用の検討が進んでいない状況にありました。 今回、公共施設等総合管理計画を策定することで、建物の解体に地方債を活用することが可能になりましたので、今後は具体的に進捗できるものと考えています。	なし
6	先進事例の 調査研究について	神奈川県秦野市や、県内であれば宮代町が、FMにおける先進都市と聞いています。これら取り組みも参考して、更に時間をかけた詳細検討を進めるべきではないかと考えます。	先進事例の研究についてはこれまでに、自治体等FM連絡会議への参加や近隣自治体との情報交換、セミナーへの参加など、積極的に取り組んできました。 これらによって得られた知見は、今回の計画に多数反映させています。今後は、あさかFMアクションプラン（仮称）の策定において、ご意見があるとおり、詳細検討を進めていきたいと考えています。	なし
7	市民説明会の 周知方法について	今回の計画(案)について2回の説明会を企画したことは大変評価できます。市民への開催の周知は1/2の朝霞市ホームページのパブリックコメントのお知らせ欄の下段に掲載されたのみと思います。私も見落とししました。ホームページに説明会のお知らせを掲載する場合は他課のように「市民説明会の開催のお知らせ」と個別に掲載しないと見落としが多いと思います。改善をお願いします。	説明会の周知について、ホームページの中で分かりにくい状況で申し訳ありませんでした。 今後は、ご意見があるとおり、説明会を個別のページで掲載するなど、分かりやすい周知に努めてまいります。	なし

意見番号	ページ等	意見等の内容	回 答	修正
8	広報あさかに 説明会のお知らせ を載せること	2回開催した説明会のお知らせが広報あさかには見当たりませんでした。ホームページを見る方は少数です。全世界に配布する広報あさかに大切な説明会のお知らせは載せてください。	説明会のお知らせについては、広報あさかの平成28年1月号10ページ左側囲み記事の一番下に掲載しています。しかし、説明会の案内が分かりづらく、十分周知できなかったことは事実であり、お詫び申し上げます。今後は、より分かりやすい案内になるように努めてまいります。	なし
9	62ページ 周知と合意形成	「市民の皆さんから広くご意見を募り、計画内容を詳しく周知し、ていねいな合意形成を図っていく必要がある」に大賛成ですが、今回の説明会そのものの周知が全く市民サイドに立たない不親切なやり方でした。今後の開催に当たってはまず、多くの市民に的確に周知する期間の確保や手法をよく検討のうえ、取り組まれるようお願いいたします。	説明会の周知が十分でなく、申し訳ありませんでした。今回は、公共施設に関する内容であることから、通常のパブリック・コメントよりも資料を配置する施設を多く設定したほか、一部施設でポスターの掲出も行いました。また、東洋大学の図書館にも資料の配置とポスター掲出をお願いしました。しかしながら、ご意見にあるように、不親切な印象を与える周知方法であったことは反省点であると考えております。今後、あさかFMアクションプラン（仮称）の策定に向けて、市民の皆さんに周知する機会が多数見込まれますので、ご意見をふまえて、改善していきたいと考えています。	なし
10	39ページ 計画の具体化と 進捗管理	10年おきの個別計画としていますが、総合計画と同じように前期と後期の5年毎に検証を行い、きめ細かな対応が必要と思います。5年毎の検証の追加を記載願います。	5年ごとの検証を行うように記述を追加しました。	あり
11	44ページ 管理目標	年9.8億円の差額をどうやって解消する？ で「それでも残る3.8億円の差については、建物の延床面積を減らす以外に方法がなく、計算上は14%の延床面積を減らす以外に有効な方策がなく・・・」とされています。つまり、9.8億円のつじつま合わせでしかないように見えます。14%の延床面積の削減が可能なのか。もう少し、具体的な根拠を挙げて示さないと市民は納得しないと思います。	年9.8億円の差を解消するための手段のひとつとして、延床面積の14%減を提案しています。具体的な施設ごとの削減方法については、今後策定を予定しているあさかFMアクションプラン（仮称）で検討していく予定ですが、建替えや大規模改修の際に、複合化、建物規模の縮小、統廃合などを進めることで、14%削減していくことを考えています。	なし